

平成23年第5回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成23年4月22日（金） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者
池浦教育部長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋学校教育課長、
嘉代小中一貫教育推進室長、鶴巻生涯学習課課長補佐、佐藤学校教育課課長
補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 2人
- 6 議 題
 - (1) 前回会議録の承認
平成23年第4回教育委員会定例会会議録について
 - (2) 議 事
議第1号 三条市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
議第2号 三条市図書館協議会委員の委嘱について
議第3号 三条市文化財保護審議会委員の委嘱について
 - (3) その他
ア 小中一貫教育関係の概要報告について
イ 避難児童等の学校及び幼稚園、保育所の受け入れ状況
ウ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 前回会議録の承認について
長沼委員長から平成23年第4回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 議 事
 - ・ 議第1号 三条市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
 - ・ 議第2号 三条市図書館協議会委員の委嘱について
 - ・ 議第3号 三条市文化財保護審議会委員の委嘱について

鶴巻生涯学習課課長補佐が一括説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

(3) その他

ア 小中一貫教育関係の概要報告について

嘉代小中一貫教育推進室長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結。

イ 避難児童等の学校及び幼稚園、保育所の受け入れ状況

高橋学校教育課長、久住子育て支援課長が説明

質疑に入る。その後、池浦教育部長が補足説明。

(長沼委員長)

有り難うございました。南相馬市から、最初はバスで来られたと聞きましたけれども、家族単位が多いですか。

(池浦教育部長)

色々なケースがございまして、南相馬市から確かにバスで私どもの避難所に来られたのですが、南相馬市には2つ避難所があるそうです。ゆめはつとという避難所と、それから石神中学校の体育館です。その2箇所が避難所になっていて、そこにおられた方が来たということです。ですから家族単位の方もいらっしゃれば単身の方もいらっしゃいますし、また南相馬市に住んでいない方もいらっしゃいます。というのは大熊町や浪江町など、一番危ないところからすぐ近くにとりあえず行こうということで南相馬市の避難所に移られていて、その方が今回三条市に行きましようということで来られているケースもあり、全員が南相馬市の方ではありません。そんな状況で、それぞれの事情の中で違ってきておりますし、またそれぞれ携帯電話などで連絡も取れるわけなので、三条がいいよという話がある中で、別の避難所から、自家用車に乗って三条の避難所に来られたという方もいらっしゃいます。

(長沼委員長)

大変お忙しかったと、有り難うございます。何か御質問はよろしいでしょうか。

(坂爪委員)

小中学生、幼稚園等とありますが、高校生もやはり同じような感じですか。

(高橋学校教育課長)

高校につきましては、高校に入学をした人、それから在学をしていた人がいるのですが、これは新潟県高等学校教育課が次のようにしています。金曜日までに新潟県高等学校教育課の方に三条市内でどこかの学校に通いたいと申し出ると水曜日に一度お会いをして、県が、ではどこの学校を希望されますかと。そうすると次の週の金曜日に面接試験を学校がします。土曜日までに可否を決めて、次の月曜日から学校に行くようになります。このような仕組みの中で三条市内から通える学校は三条高校、三条東高校、商業高校、県央工業、それから加茂高校等に10人ほどの高校生が通っています。

(長沼委員長)

有り難うございます。他によろしいでしょうか。

(高橋学校教育課長)

ひとつ御報告を申し上げます。4月に入ってからインフルエンザが流行るということ
はちょっと珍しいのですが、今年度は4月5日始業式の日からインフルエンザが流行し
ています。インフルエンザ疾患による学級閉鎖等特別な配慮がある学校は南小学校が
1、2、3年生、栄中央小学校が3年生、大崎小学校は2、3年生、大面小学校が1、
4、6年生、栄北小学校が2、3、4、5年生、これが学級閉鎖をしました。印象的だ
ったのは、栄北小学校は1年生と6年生しかいないという状況が発生することがありま
した。どちらかという低学年の子どもたちがインフルエンザにかかっているかなと思
いますし、主としてA型でB型が混在しているような状況です。学校には十分気をつけ
るように話をしているところですが、集団で流行する場合があります、やむをえない場合が
ありますが、よろしくをお願いします。

(渡辺委員)

それは県内ほかの市町村もこういうケースが見られていますか。

(高橋学校教育課長)

特にほかの市町村で大変困っているという状況は聞いていません。三条でもどちらか
という南部といいますか、嵐南から栄地区、特に私の印象では栄地区が流行してい
るなという感じがします。

(渡辺委員)

珍しいですね。

(久住子育て支援課長)

保育所、幼稚園では今のところ自粛や閉園というのはない状態です。

(長沼委員長)

症状は軽いというふうに聞いていますけれども、やはりインフルエンザですか。

(高橋学校教育課長)

熱や咳やのど、熱としては38～39度出ているようなところです。

(松永教育長)

気をつけなければならないのは、今、先ほど報告があったように避難所生活をしてい
る人がたくさんいらっしゃるわけですので、そこからまた学校に通学している子どもも
いるわけですから、避難所において若干そういうインフルエンザとか、あるいは感染性
の胃腸炎のような病気がもし流行すると学校に大きな影響がでる、一時体育文化センタ
ーでそんな感染性の胃腸炎らしいものが流行した時に、そこから学校に通っている子ど
もが休んだという報告もありました。インフルエンザも含めてそういう、今は避難所生
活の健康管理、衛生管理といったらいいのでしょうか、その辺も合わせていかなければ
ならない気がします。

(渡辺委員)

ちょっと戻るのですが、その時に質問をすればよかったのですが、避難している家族

の中で、非常に精神的に大きな痛手を被っていると思うのですが、心のケアの必要な子どもさんなどはどんな状況でしょう。

(高橋学校教育課長)

以前、他の県外において福島から来ている子どもさん方について、差別的なというか、言ってはいけないようなことを言ってしまったことがあったという話を私たちは聞いているところです。そのようなことを受けて、小中学校においてはまず臨床心理士の方から教頭及び生徒指導担当の人にそういう避難所から来ている子どもたちについてどのように対応したらいいかということについて指導をいただくような機会を設けさせてもらいました。

その後はいわゆる学校で認める中で、少し元気がないなとか。子どもたちの様子で元気がないなと思う子どもについてはカウンセラーからカウンセリングをしていただくということを県も進めているところですが、私たちも県同様に、学校でそういうことをさせてもらっています。そういう中で何人かの方の名前があがって、何人かについて学校を通してカウンセリングをさせていただいたり、これからさせてもらうような状況になっています。

(長沼委員長)

有り難うございます。

(久住子育て支援課長)

それに追加して、来月から「こころの相談会」ということで、小中学校だけでなく幼児ですとか高校生の、また保護者も対象にした青陵大学、私たちは青陵大学と教育委員会は連携を取っていますので、その臨床心理士の先生が5月から月2回、避難所で「こころの相談会」というものをやりましょうと言ってくださっているのです、そういう計画も立てています。

(松永教育長)

臨床心理士等の心のケアの相談もそうですが、私どもは校長会を4月8日に開いた時に、受け入れに当たって各学校、十分子どもたちの心の傷を増やさないようにといたしましょうか、仲間作りなどにおいて居づらいような立場を作ったり、いじめや何かないよということとは校長会を通して私の方から文書でお願いしたところです。また、その後、先ほど例に挙げられた原発の方から来た子どもの放射能の話の時は通知もしました。各学校に、こういう事例のないよという通知を出して各学校に十分受け入れ体制においてこころのケアも含めて対応するよというふうに依頼をしているというところです。子どもの社会ですからどんなことが起きるかちょっと予測できない面もありますが、受け入れた学校が十分その辺を心得た対応をしてくださっているものと思っています。

(長沼委員長)

有り難うございます。三条は水害の体験もありますのでそんなひどいことはありえないと思いますし、それでも相当の心の傷があると思いますので、どうぞ皆様よろしくお願いいたします。

ウ 次回教育委員会定例会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成23年5月25日（金） 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成23年4月22日 午後2時00分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成23年5月25日

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子